

令和2年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第4学年2組

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○文を読んで理解する学習、大事な情報を落とさずに聞く学習が苦手な児童がいる。</p> <p>○作文を書く力に差がある。</p> <p>○新出漢字を意欲的に学習しているが、習得に差がある。</p>	<p>○大事な情報を落とさず、1回で正しく読んだり聞いたりする力を身につける。</p> <p>○書こうとすることの中心を明確にする。段落相互の関係に注意して文章を構成する。</p> <p>○漢字を正しく覚え、正しく読む力を育てる。とめ、はね、はらい、文字のバランスを意識して書く力を育てる。</p>	<p>○文章の中で重要な部分に気が付けるように線を引いたり、互いに確認させたりする。</p> <p>○書こうとする内容、段落構成を作文メモに整理した後で、作文を書く。</p> <p>○漢字を習得させるために、「漢字スキル」の活用、「漢字テスト」の実施、平素の活動における文字指導等、毎日の積み重ねを大事にする。</p>		
社会	<p>○どの単元にも関心が高く、新しいことを知りたいと学習に意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>○資料の読み取りや考察が不十分で、課題に対する取り組みが浅い児童がいる。</p>	<p>○年間を通して、東京都について様々な知識を得られるよう、学習を進めていく。</p> <p>○地図の見方や資料の読み取り方など基本的な力を育て、課題に対する考察力を育てる。</p>	<p>○「わたしたちの東京都」を活用して、東京都に関する知識を身に付けさせる。</p> <p>○資料の読み取りや学習のまとめで分かったこと、思った事を交流させ、個々の気づきを広めたり深めたりする。</p>		
算数	<p>○既習事項を含めて、基礎・基本の定着に差がある。</p>	<p>○学年に応じた基礎的・基本的な学力を身に付けられるようにする。</p>	<p>○習熟度別少人数指導を通して苦手な児童に対して細やかな支援を行う。また、既習事項を確認する学習を授業に取り入れるようにする。</p> <p>○計算間違いを防ぐために、見</p>		

	<p>○文章問題から正しく立式できない児童がいる。</p>	<p>○問題の内容について、正しく理解し、解決できるようにする。</p>	<p>直しや検算の習慣をつけさせる 作図の学習は十分に時間をとり 個別指導を行う。</p> <p>○問題に出てくる数字を取り出し、数字と数字の関係について、数直線や図、絵に表現して理解を深める。</p>		
理科	<p>○観察や実験に関しては、ほとんどの児童が意欲的に活動している。</p> <p>○実験や観察から分かったことをまとめたり話し合いをしたりすることを苦手とする児童が見られる。</p>	<p>○学習課題について、自ら疑問をもち、結果や分かったことから、次への疑問や課題を導き出すことができる児童を育てる。</p> <p>○実験や観察の結果を正確に記録する児童を育てる。</p>	<p>○学習課題を自ら設定できるように、導入で児童が学習内容について疑問をもつような実験や資料の提示を行う。</p> <p>○体験活動を大切にし、実物に触れる機会を多く設ける。</p> <p>○実験結果や分かったことを自分の言葉で書き、またその内容をグループで交流させ、友達の意見を聞きながら個々の考えを深める。</p>		
体育	<p>○意欲的に取り組む児童が多いが、めあてをもちずに運動している児童もいる。</p>	<p>○自らめあてをもち、基本的な動きを体得するとともに、運動することを楽しさや喜びを感じる児童を育てる。</p>	<p>○基本的な動きを自ら体得させるために、個々にめあてをもたせる。グループで互いの動きを見合うことで学習を深める。</p>		